

# 「ひろしまの都市格と暮らし」-2

**2011年 2月19日(土) 13:30より** (会場受付：13:00より)

場所：広島市まちづくり市民交流プラザ 北棟 6階マルチメディア スタジオ 広島市中区袋町6番36号

成熟社会に向けた都市の再生や観光都市の創造においては、まずその地域の産業や生活文化（地域特性、遺伝子）を踏まえた都市格（都市の性格や品格）について市民自らが考える必要があり、その都市格を踏まえることにより、地域特有の産業の連携や高い文化性を持つまちを造っていくことができると考えています。こうした考え方のもと、ひろしま文化都市会議では、昨年度「ひろしまの都市格と暮らしを考える」と題したフォーラムを開催し、江戸時代後期の広島城下の歴史や生活文化を考察し、多くの参加者とともにひろしまの都市格とは何かについて考えてきました。

今年度は、平成22年11月6日に町の歴史上の名残を親子で探すウォークラリーや、平成22年11月27日に「学都広島」をテーマとしたゼミナールを開催しました。そして、その流れを受け継ぎ、今回「軍都広島」さらには「廣島の旦那衆と街と暮らし」の講話を加えて過去を振り返り、戦前のひろしまの街と暮らしを考えるフォーラムを開催します。ここでは戦前の街の様子やそこにあったと思われる生活や経済活動の貴重な映像や資料をもとに、ひろしまの都市格とは何かについて考えたいと思います。多くの皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

第1部 講話 (13:30-14:30)

実行委員会：ひろしま文化都市会議

## 「軍都廣島の街と暮らし」

講師／千田 武志 氏 (ちだ たけし／広島国際大学 医療福祉学部 教授)

軍が広島経済、医療・衛生、市民生活に与えた影響についてひも解きながら、戦前の軍都廣島の街と暮らしについて考える。

第2部 講話 (14:40-15:40)

## 「廣島の旦那衆と街と暮らし」

講師／田辺 良平 氏 (たなべ りょうへい／郷土史家)

戦前の廣島の旦那衆の活動や当時の経済の隆盛などについてひも解きながら、廣島の街と暮らしについて考える。

第3部 トークセッション (16:00-18:00)

## 「受け継がれるひろしまの都市格と暮らし」

話題提供・パネリスト／高野 和彦 氏 (たかの かずひこ／広島市公文書館 館長)

コメンテーター

／田辺 良平 氏 (たなべ りょうへい／郷土史家)

／千田 武志 氏 (ちだ たけし／広島国際大学 医療福祉学部 教授)

／錦織 亮雄 氏 (にしきおりあきお／(社)広島県建築士会 会長)

コーディネーター

／松田 智仁 氏 (まつだ ともひと／広島市)

第1部 第2部の講話に、広島市公文書館 館長の高野和彦氏による「戦前のひろしまの街と暮らし」についての映像や資料にもとづく話題提供を重ね、成熟社会に向けて、受け継ぎ、受け渡すべきひろしまの都市格と暮らしとは何か？について考える。

主催：(社)広島県建築士会広島支部

共催：(社)日本建築学会中国支部都市計画委員会 (社)日本都市計画学会中国四国支部

(財)広島市ひと・まちネットワーク まちづくり市民交流プラザ

(申し込み方法) 下記の宛先まで FAX または E-mail でお申し込みください

申し込み先：(社)広島県建築士会広島支部 FAX 082-244-6836 E-mail : info@shikai-hiro.jp

会員・会員外を問わず  
どなたでも参加できます

ふりがな  
氏名

住所

(連絡先TEL: )

所属(会社・団体名) (任意)

メールアドレス(任意)



先着100名可!

参加費 無料

お問い合わせ

(株)GK デザイン総研広島 内  
三島 久範

TEL 082-242-7755

建築士の会員ですか?

会員 ・ 会員外

建築士会CPD制度にご参加の方はCPD登録番号をご記入ください

CPD登録番号

340000

号

建築士以外のCPD制度(建築CPD情報提供制度、JIA等)にご参加の方は建築士の登録番号をご記入ください

一級 号

二級 ( ) 県

号

木造 ( ) 県

号

※参加の申込みは準備の都合上、2月10日(木)までにお知らせください。

参加申込みの際にお寄せいただいた個人情報につきましては事業運営の目的以外には使用いたしません。